

～大津市企業立地ガイド～

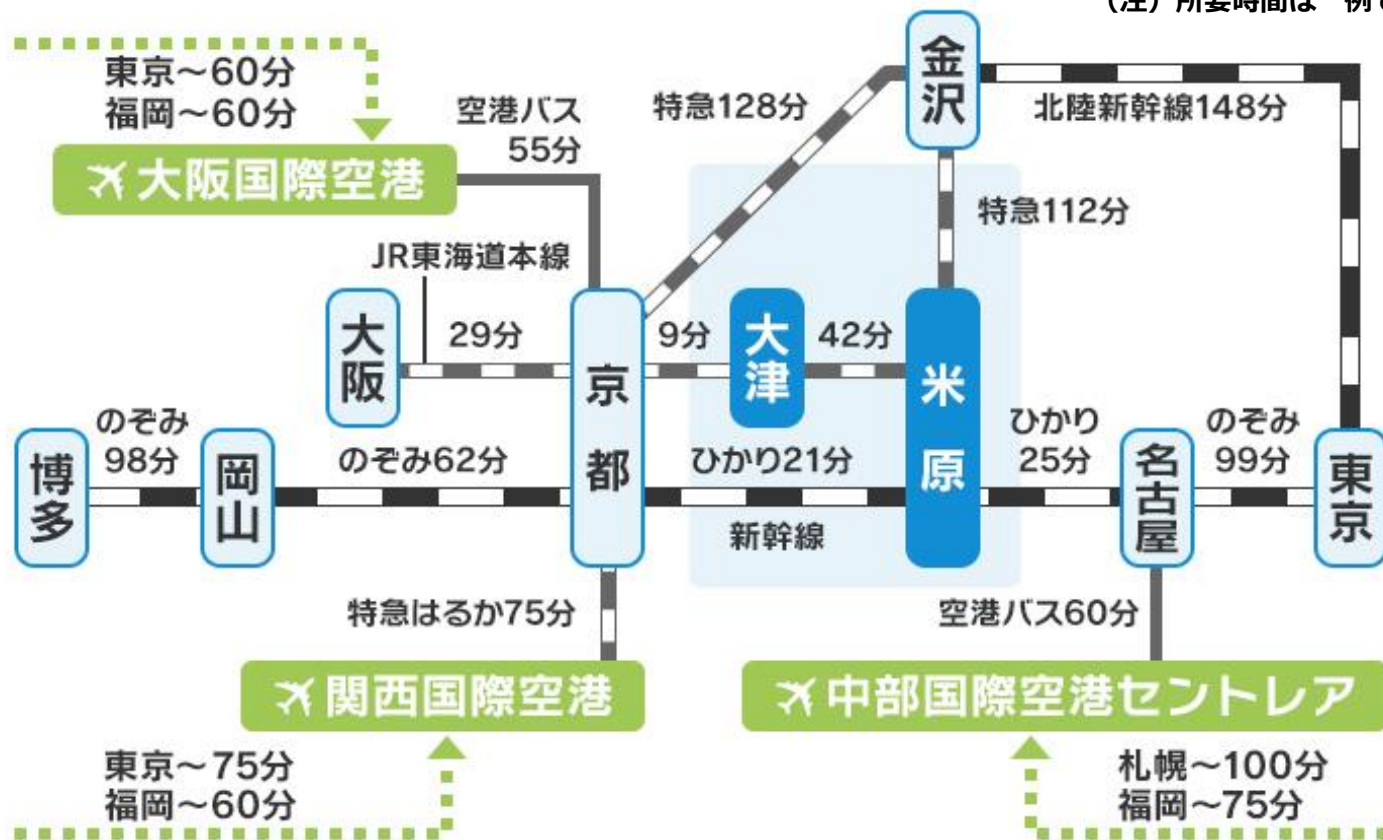
企業の皆様を全力でバックアップします！

- 1 抜群の交通アクセス！
- 2 都市圏に比べ安価な土地！
- 3 いつまでも暮らしたくなる、安心して働けるまち！
- 4 人材確保に適した環境！
- 5 大規模広域災害のリスクが少ない！
- 6 充実した子育て環境！
- 7 企業立地を支える多彩なサポート施策！

1 抜群の交通アクセス！

大津はこんなにいいところ (首都圏まで2時間半)

(注) 所要時間は一例です



出典：滋賀びわ湖観光情報

大津市に拠点を持てば東日本・西日本全体をビジネスエリアにすることが期待できます。

都市部である京都・大阪や名古屋に近い本市は、広域的なビジネス拠点としても最適です。

1 抜群の交通アクセス！

大津市は日本のほぼ真ん中に位置し、近畿圏、中部圏への優れたネットワークを有しています。

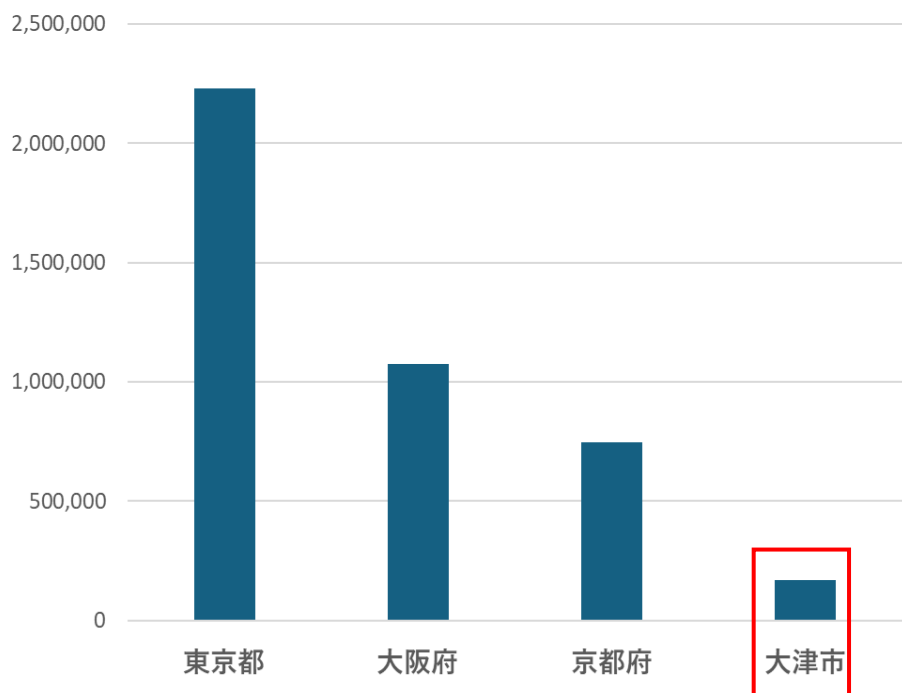
開通予定の新名神大津スマートICでますます便利に！



2 他地域に比べ、安価な土地！

大津市は近隣府県と比較して、相対的に土地の価格が低く、企業進出を考える上で大きなメリットとなります！

商業地価格 (円/㎡)

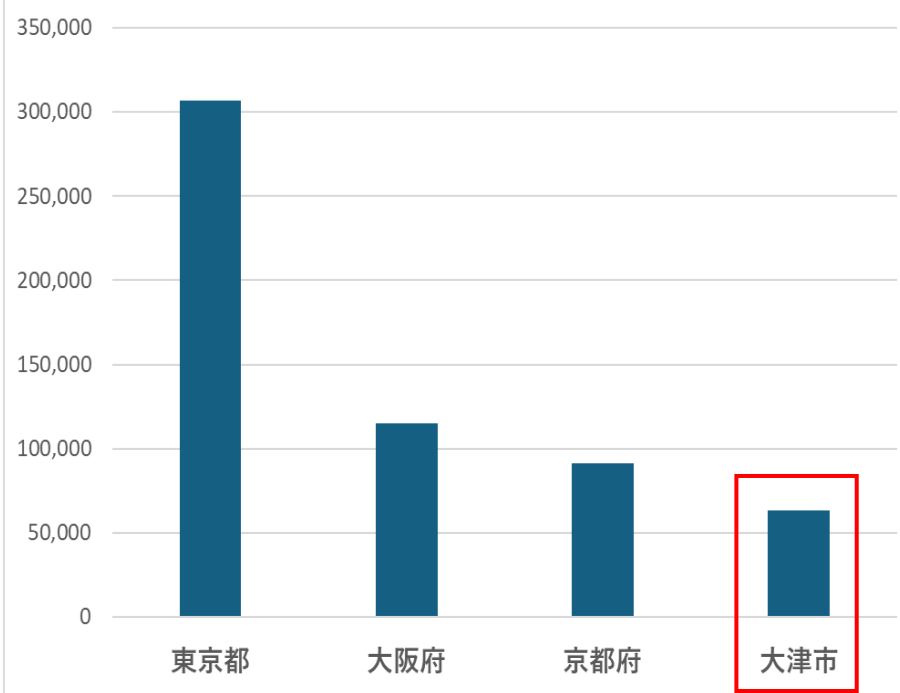


東京の約 **1/12** の価格

大阪の約 **1/6** の価格

国土交通省(令和5年地価調査)

工業地価格 (円/㎡)



東京の約 **1/5** の価格

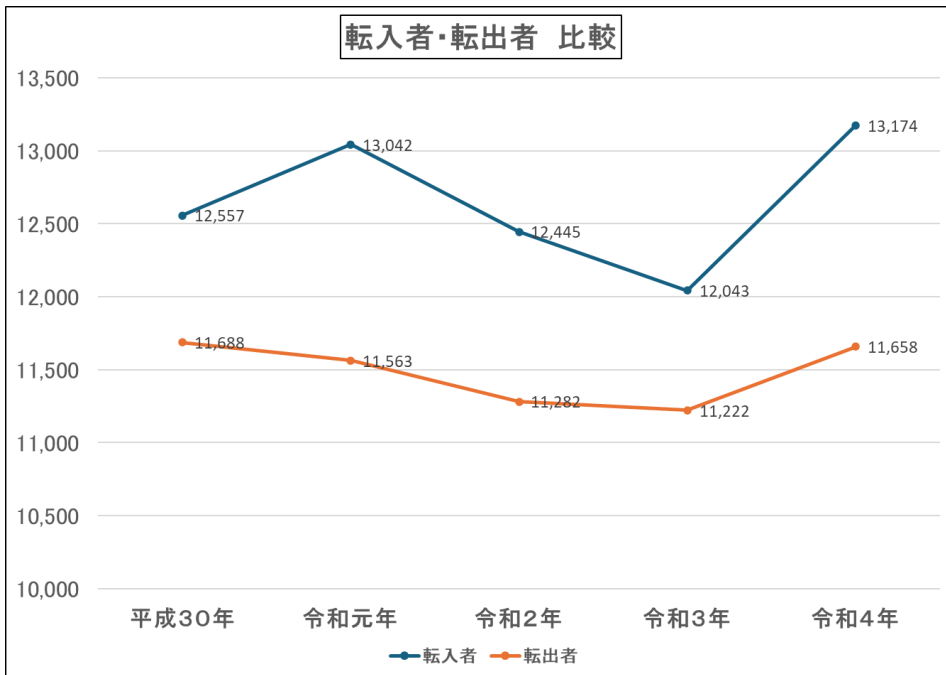
大阪の約 **1/2** の価格

国土交通省(令和5年地価調査)

3 いつまでも暮らしたくなる、安心して働けるまち！

「住みやすい」まち大津

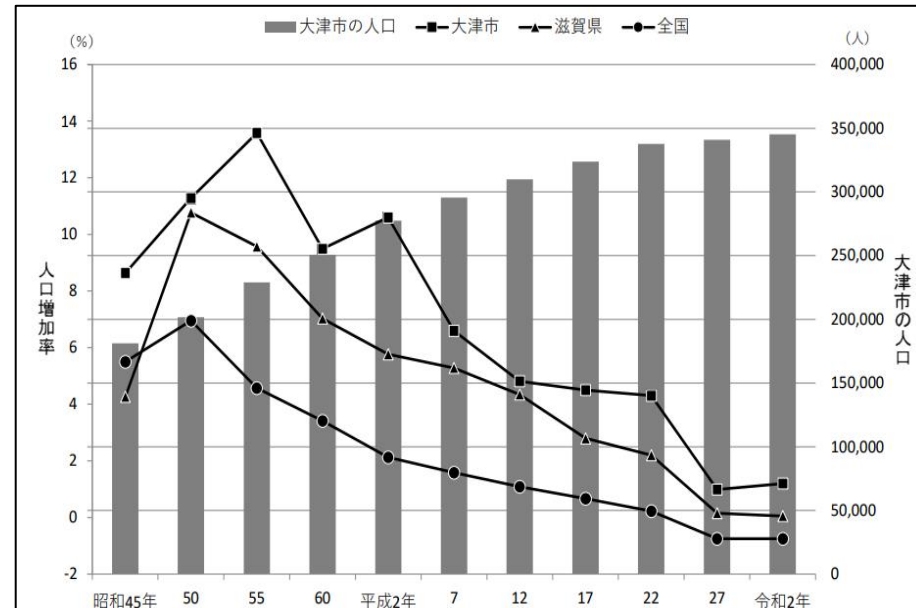
転入者が転出者を上回る**“選ばれるまち”**です。



大津市統計年鑑

人口増加率においても滋賀県や全国を上回っています。

令和6年3月末日現在
人口 約34.3万人
(生産年齢人口：約20.4万人)



資料：総務省統計局「令和2年国勢調査」

3 いつまでも暮らしたくなる、安心して働けるまち！

<住みやすいまちとして選ばれる3つの理由>

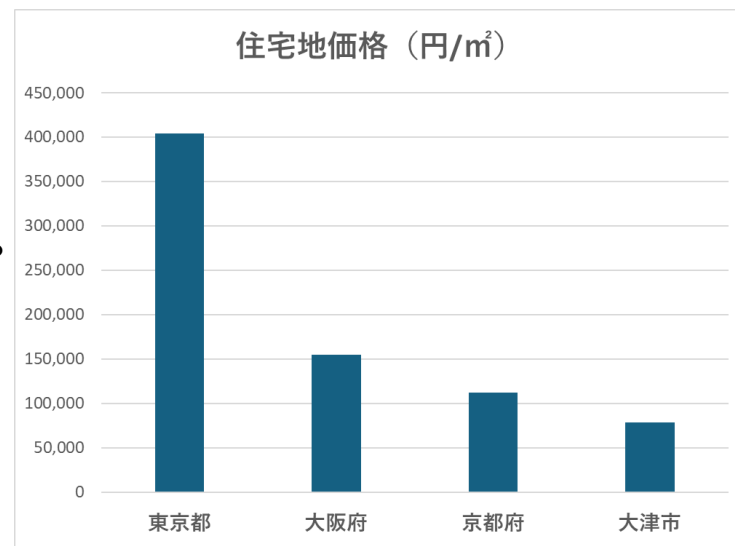


① 抜群の利便性

JR京都駅に9分・JR大阪駅に38分
(JR大津駅から)

② 住宅が取得しやすい

都市圏と比較して地価が安い
ため、子育て世帯がマイホームを
購入できる。
(住宅地の地価は、
東京の約1/5・大阪の約1/2)



国土交通省(令和5年地価調査)

③ 自然と歴史の宝庫

びわ湖と山のいやしを日常に感じ、
自然に囲まれた生活ができる。



琵琶湖疎水



坂本のまちなみ



大津港

写真:びわ湖大津観光協会

4 人材確保に適した環境！

■ 充実した教育環境

近隣には滋賀大学など教育機関が多く、新卒採用や再教育・研修などに必要な人材育成や人材確保のための環境が整っています。



龍谷大学

瀬田キャンパスは、先端理工学部や農学部などの学部と大学院で構成されています。地域の人々への学びの場を提供する公開講座や産学連携事業の拠点機能も充実しています。



滋賀医科大学

滋賀県内唯一の医学系大学です。附属病院も併設しており、地域の医療を支えています。



立命館大学

びわこくさつキャンパスは、7学部7研究科に約1万5千人の学生が在籍し、文理融合での学びを深めています。



滋賀大学

滋賀大学大津キャンパスには教育学部があり、自然溢れる広大な敷地で学生が勉学に励んでいます。

■ 滋賀県内の大学一覧

県内には14もの大学があり、多様な分野の人材が揃っています。また、**滋賀県は若年層（15歳以下）の人口割合が高いため、将来的に企業を支える人材を安定的に確保できる可能性が高いです。**

● 15歳以下の年少人口割合（滋賀県）
13.2%（全国2位）

令和4年人口統計（総務省統計局）

滋賀14大学 学問系統別一覧 [2023年度]

	文・文化・心理学系	外国語系	経済・経営・商学系	社会学・社会福祉学系	国際関係系	食物・被服・生活科学系	芸術学系	教育・教員養成系	人間科学・総合科学系	看護・健康・スポーツ・保健学系	薬学系	医学・歯学系	理学系	工学系	農・水産学系	環境科学系
① 滋賀大学			●					●						●		●
② 滋賀医科大学											●	●				
③ 滋賀県立大学	●	●		●	●	●			●	●			●	●	●	●
④ 龍谷大学				●		●							●	●	●	●
⑤ 立命館大学			●						●	●	●		●	●		●
⑥ 成安造形大学							●									
⑦ 聖泉大学	●		●	●				●		●						
⑧ 長浜バイオ大学												●	●			●
⑨ びわこ成蹊スポーツ大学										●						
⑩ びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部			●	●				●		●						
⑪ びわこリハビリテーション専門職大学								●								
⑫ 滋賀文教短期大学	●							●								
⑬ 滋賀短期大学			●			●		●								
⑭ 放送大学滋賀学習センター																

これらの領域にまたがる生命科学分野

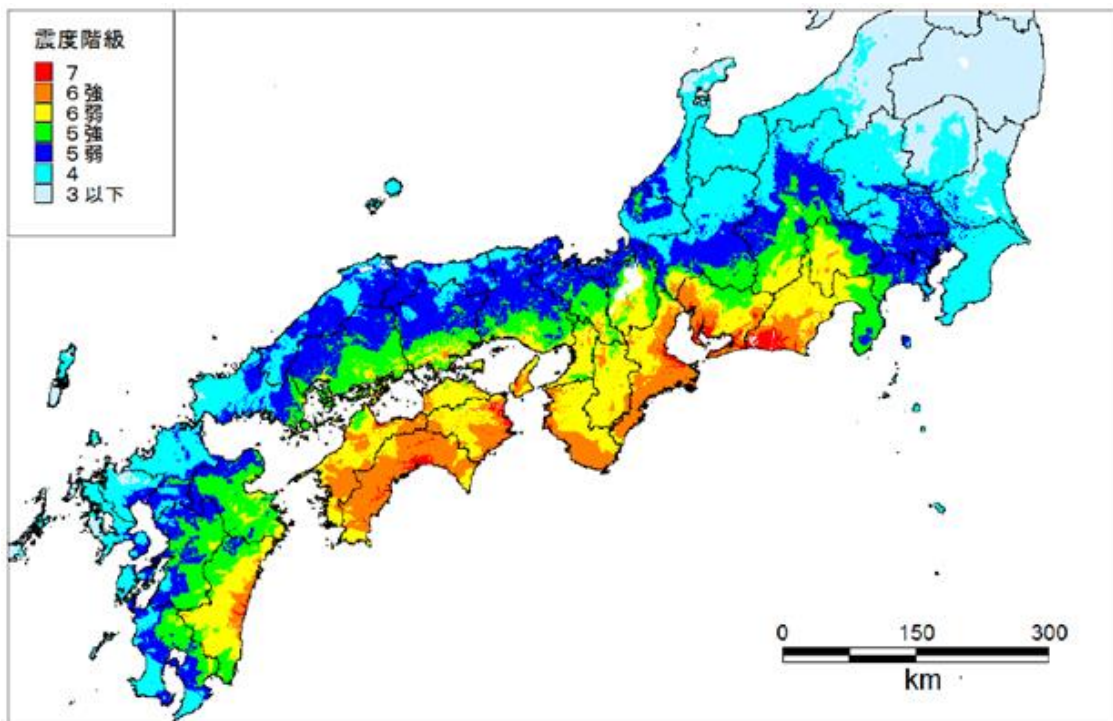
全ての領域に係わる教養学分野

5 大規模広域災害のリスクが少ない！

リスク分散のためのBCP拠点に最適

大津の気候は日本で良く見られる温暖湿潤気候です。琵琶湖のおかげで、一日の気温の変化や年間の気温の変化は比較的小さいといわれています。また、南海トラフ地震による災害リスクも比較的少ない地域です。

■南海トラフ地震の想定震度分布



内閣府 南海トラフ地震対策検討ワーキンググループ

- 平成23年から令和2年までの平均水害被害額（滋賀県）
24.3億円/年 全国3位★

水害統計調査(国土交通省)

- 令和2年から令和4年までの震度1以上の地震観測回数（滋賀県）
60件 全国7位★

都道府県別の震度観測回数(気象庁)

※★がついた項目は数値の小さい順を表している。今後の状況を予測するデータではない。

6 充実した子育て環境！

大津は子育て環境が充実しており、従業員やその家族にとって安心して生活できる環境が整っています。

◎ 新しく子どもが生まれる方に給付金を支給。

◎ 高校卒業まで医療費を助成。

◎ 第3子以降の学校給食費を免除。

◎ 子育てに関するイベントや子育て支援情報を手軽に入手できるアプリを導入。



など

7 企業立地を支える多彩なサポート施策！

本社機能移転する場合に活用していただける優遇制度です。

本社機能移転促進助成金

本市で本社機能のための建物を取得(建設、売買または賃借)する事業者に対して、**建物・付属設備などの取得費用や賃借に係る費用を助成**します。

建設型移転	対象者	建物・付属設備等の取得経費(消費税額等除く)が5,000万円以上である事業者 ※令和5年4月1日以前から市内で保有する土地へ移転する場合を除く
	助成金額	・市外から市内 10% ・市内から市内 5%
	限度額	5,000万円
	助成期間	1回限り
賃借型移転	対象者	市外に本社を有し、創業後1年以上経過かつ、常用雇用者を5人以上配置している事業者
	助成金額	建物賃借料(消費税額等除く)の50%
	限度額	500万円/年
	助成期間	2年間

<雇用加算>

建設型・賃借型とも新規地元雇用者1人につき50万円(非正規雇用25万円)を加算します。
(助成限度額の範囲)

7 企業立地を支える多彩なサポート施策！

工場等を新設・増設する場合に活用していただける優遇制度です。

企業立地促進助成金

大規模工場等建設助成金

助成内容	工場等を新築・増改築する事業者に対して、当該建設に係る工場等に賦課された 事業所税の資産割額に相当する額を助成 します。
対象者	製造業を営む事業者
助成金額	対象床面積(m ²)×600円
限度額	なし
助成期間	5年間

工場等建設助成金

助成内容	一定規模以上の工場等を新築・増改築する事業者に対して、当該建設に係る工場等に賦課された 固定資産税額および都市計画税額に相当する額を助成 します。
対象者	製造業を営む事業者で、当該工場等の建設に係る投下固定資産額(土地取得費用除く)が中小企業は5,000万円以上、大企業は2億円以上
助成金額	1～2年目 全額 3～5年目 50%
限度額	なし
助成期間	5年間

7 企業立地を支える多彩なサポート施策！

大津市では、工場等の立地を促進するために緑地面積率や届出の期間を以下の通り緩和しています。

緑地面積率	工業地域・工業専用地域	20% (国) → 10% (大津市)
	準工業地域	20% (国) → 15% (大津市)
	その他の地域	20% (国) → 20% (大津市)
環境施設面積率	工業地域・工業専用地域	25% (国) → 15% (大津市)
	準工業地域	25% (国) → 20% (大津市)
	その他の地域	25% (国) → 25% (大津市)
重複緑地算入率	(屋上緑化等緑地面積に参入できる重複緑地の割合) 25% (国) → 50% (大津市)	

◎届出の期間

工場立地法では届出が受理された日から90日を経過した後でなければ着工できませんが、**大津市では、審査により必要に応じてこの期間を10日まで短縮することができます。**

7 企業立地を支える多彩なサポート施策！

■ 滋賀県の商工業の拠点 コラボ滋賀21

滋賀県における商工・労働分野の振興拠点として、県下の商工団体、労働団体が一同に集結し、ワンストップサービスを提供すると共に、これからの本県経済を牽引する新事業を創出することにより、「たくましい経済県づくりのシンボルセンター」としての機能を果たしています。



コラボ滋賀21

■ 大津市内の主な事業所・産業支援機関

所在地	企業名	主要製品等	※
大津市	(株)カネカ 滋賀工場	電子材料、プラスチック製品	★
	(株)堀場製作所 びわこE-HARBOR	自動車計測システム、半導体システム	★
	松定プレジジョン(株) プロダクションセンター	電源装置(直流、高圧、交流)	★
	東レ(株) 滋賀事業場、瀬田工場、 東レエンジニアリング(株) 関西技術センター等	繊維、プラスチック製品、電子材料、合 織紡績糸、液晶フィルター、東レリサー チセンター、フィルム研究所・電子情報 材料研究所、地球環境研究所等	★
	日本精工(株) 大津工場	ベアリング、機械部品	★
	日本電気硝子(株) 本社・大津事業場、P&P 技術センター	管ガラス、電子部品用ガラス、ガラス製品	
	(株)島津製作所 瀬田事業場	油圧・空圧機器	★
	ローム滋賀(株)	ディスクリート半導体、センサ	
	(株)サンデリカ 滋賀事業所	米飯、調理パン	★
	東洋紡(株) 総合研究所等	化成品、繊維・機能材、ヘルスケア部門の研究	★
	大塚製薬(株) 藤井記念研究所・大津栄養製品 研究所・大津スキンケア研究所	栄養製品、スキンケア製品の研究	★
	(株)近畿分析センター	環境測定、材料分析・評価	★
	オブテックス(株)	照明調光センサライト	★
	エリーパワー(株) 技術開発センター	リチウムイオン電池	★
(株)I. S. T 本社	各種ポリイミド製品群、OA機材部品	★	



(株)堀場製作所 びわこE-HARBOR